新規就農

令和5年8月作成
北海道農政事務所札幌地域拠点

「いちご分校」と豊浦農業親方ネットワークで協力
ー　地域で新規就農者を育成　ー
豊浦町地域産業連携拠点施設「いちご分校」（豊浦町）

【いちご分校（外観）】

【施設の概要】

- 名　称：豊浦町地域産業連携拠点施設「いちご分校」
- 所在地：豊浦町字大岸442 番地2
- 開設年：令和元年度
- 問合せ：0142-83-1410（豊浦町農林課農林係）
- URL: https://www.town.toyoura.hokkaido.jp/hotnews/detail/00003635.html

◇【取組の経緯と概要】

◆ 新規就農者の育成により農業の担い手を確保し、6次産業化の推進により異なる産業を連携させることによって、地域コミュニティを活性化させ、移住・定住者の増加を図ることを目的に廃校となった小学校を改築し令和元年度に開設。

◆ 研修生は豊浦町の地域おこし協力隊となり、豊浦いちごの新規就農予定者として3年間研修。

◆ 豊浦農業親方ネットワークに所属する農業者から栽培技術等を学びながら、いちご分校の研修用ビニールハウスでいちごの定植から出荷までを行う。

※豊浦農業親方ネットワークとは新規就農者を個人で育成してきた農家が中心となって設立されたもので、地域全体で新規就農者を研修・指導し、育成する仕組み。

◆ 研修用ビニールハウスのほか、オーブンや真空パック機などの設備を備えた加工施設、ワークショップなどを開催する地域の交流施設がある。また、ベッドやシャワーの設備がある宿泊施設があり、新規就農に向けた農業体験の際に宿泊することも可能。

【いちご栽培の研修用ビニールハウス】

【取組の成果】

- 今まで4組の研修生（令和元年に1組、令和2年に2組、令和3年に1組）を受け入れ、1期生と2期生は3年間の研修後に就農。
（1期生の星さんを紹介しています。詳しくはこちら https://www.maff.go.jp/hokkaido/sapporo/shinnki/shinnki.html）
- 農業の担い手を確保し、地域コミュニティの活性化に貢献。3年間の研修後に豊浦町で就農するため、豊浦町への移住・定住者が増加。

【交流施設】

【加工施設】

【今後の展望】

●毎年コンスタントに研修生を受け入れ町内の新規就農者を増やすことにより、移住・定住者の増加、地域コミュニティの活性化を継続的に図っていきたい。